

平成29年度 第33回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳児の入浴時のお湯の温度は () °Cくらいがよい。
 - (2) 乳児の体重は () 年で出生時の約3倍になる。
 - (3) 乳児の間食は、1日のエネルギーの () %位が目安である。
 - (4) 乳児から2, 3歳までの発育や栄養状態を評価するためにカウプ指数が用いられるが、普通判定の数値は、() である。
 ア 1 イ 10~15 ウ 15~18 エ 30~35
 オ 35 カ 40
- 2 次の文で正しいものには○, 誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 生後5~6か月頃になると乳汁だけでは鉄やたんぱく質が不足するため、離乳食を始めるとよい。
 - (2) 乳児の睡眠環境は、熟睡できるように、人があまり出入りしないような静かな場所がよい。
 - (3) 新生児は、出生体重により分類され、2500g未満の場合は低出生体重児になる。
 - (4) 乳児の身体計測は、身長、体重の2箇所を測定し、発達状態をみる。
- 3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳歯は、生後6か月頃に () から生え始める。
 - (2) 出生後2~3日頃までの乳児は、() とよばれる黒の粘りのある無臭の便が出る。
 ア 下の中切歯 イ 上の中切歯 ウ 乳便 エ 胎便
 オ 移行便

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成29年度 第34回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 出生時の脳の重さは、() g程度である。
- (2) 調製粉乳を作る時、出来上がりの温度は()℃くらいが望ましい。
- (3) 幼児の発達の目安として、前ボタンをかけることができるのは()歳くらいである。
- (4) 出生時およそ50cmの身長が、()年で約1.5倍になる。
ア 1 イ 4 ウ 5 エ 40 オ 70 カ 350

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 新生児と乳児の呼吸は腹式で、幼児期になると胸式呼吸になる。
- (2) 布おむつの場合、股関節脱臼を防ぐために股の部分の厚くする。
- (3) 乳児は新陳代謝が盛んで汗をかきやすいので、薄着を心がける。
- (4) 乳児の顔を清拭するときは、最初に口の回りから清拭するとよい。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

胎児は(1), 肝臓が機能していない。その代わりに、胎盤から酸素を取り入れるため、卵円孔、動脈管、(2)とよばれる管があるが、生後まもなく閉鎖される。

- ア 大動脈管 イ 肺 ウ すい臓 エ 静脈管

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第35回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 腸の長さは成人よりも子どものほうが長く、幼児では身長() 倍の長さである。
- (2) 乳児のからだの水分比率は、平均() %である。
- (3) 伝い歩きから、支えて歩くことができるようになるのは() か月頃からである。
- (4) 衣服のボタンを掛けられるようになるのは、() 歳頃からできるようになる。
- ア 3 イ 4 ウ 6 エ 12 オ 70 カ 80

- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 男児の布おむつの当て方は、前を厚くしておむつカバーと一緒に当てる。
- (2) 混合栄養とは、いろいろな種類の粉ミルクを混ぜて調乳することである。
- (3) 外気浴をさせるときは、紫外線の強い10～14時を避けてすることが望ましい。
- (4) 乳幼児の寝具で、敷布団やシーツは肌触りがよく柔らかいものが多い。

- 3 次の文を読んで関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 頭部を支える首の動き、足の動き等、全身を使った移動や体の平衡を保つための運動。
- (2) 親など特定の人と子どもの情緒的な結びつきのことで、生後6～7か月経ってから形成されるもの。
- ア 微細運動 イ 粗大運動 ウ スキンシップ エ アタッチメント

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第36回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、() に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 親指と人差し指で、つかむことができるのは() か月頃である。
 - (2) 母子健康手帳は妊娠中から子どもが() 歳までの発育状況を記録するものである。
 - (3) 生理的黄疸は、一般的に生後() 週間で消失する。
 - (4) 乳歯は生後6か月頃から生え始め、3歳までに() 本生えそろう。
ア 1 イ 6 ウ 10 エ 18 オ 20
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 乳児の間食は、運動量も増えてくるので、味がしっかりとしたもので、脂肪分を十分に含んだものがよい。
 - (2) 自律授乳とは、乳児がミルクを欲しがるときに、欲しいだけ与えることである。
 - (3) 新生児の検温は、一般的にわきの下で測定するが、肛門でも調べられる。
 - (4) 出産後3～4日間、哺乳量よりも排泄や発汗などによる水分消失が上回るため体重が減少する。
- 3 次の文を読んで関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳幼児が抱きついたり、後を追ったりするなど親に接触しようとする行動を() という。
 - (2) 新生児の頭蓋骨は、5つの部分に分かれ、泉門とよばれる隙間が開いている。後方の三角形の泉門を() という。
ア スキンシップ イ 愛着行動 ウ 小泉門 エ 大泉門

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第37回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 歯ぐきでつぶせるかたさの離乳食を与える時期は、おおよそ()か月頃である。
- (2) 手のひらと指を使って、熊手のようにつかむことができるようになるのは()か月頃である。
- (3) 出生後()日頃の乳児は、黒い粘りのある胎便がでる。
- (4) 乳歯が生え始めるのは、生後()か月頃からである。
- ア 2～3 イ 6 ウ 7～8 エ 9～11
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 顔の清拭で目の部分は、目頭から目尻に向けて拭く。
- (2) 布おむつの当て方は女児は前を厚く、男児は後ろを厚くする。
- (3) 幼児は胃が小さく、消化吸収機能が未発達なので、食事以外におやつは食べたいときに食べたいだけ与えるのが望ましい。
- 3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 胎盤を介して母体内の免疫が胎児に移行する母子免疫を(①)とよび、自分でつくり出す免疫を(②)とよぶ。
- (2) 日光に含まれる紫外線によって体内に(③)がつくられて骨が丈夫になる。
- ア ビタミンD イ ビタミンC ウ 受動免疫 エ 能動免疫

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	①	②	③
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

2019年度 第38回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 首がすわりはじめるのは () か月頃である。
- (2) 体重が出生時の3倍になるのは () 歳頃である。
- (3) 自分でお座りができるようになるのは () か月頃からである。
- (4) 離乳の完了期のめやすは () か月頃である。

ア 1 イ 3～4 ウ 6～8 エ 12～18

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 幼児の骨は、軟骨の部分にカルシウムが付着して固くなってつくられる。
- (2) おむつカバーは尿が漏れないように、しっかりと腹部を固定する。
- (3) 乳児期は午前・午後1回ずつ昼寝が必要である。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 新生児のからだを持ち上げて急にさげると、両手をさっと広げる。
- (2) 新生児の手のひらを刺激すると、強く握りしめる。
- (3) 乳幼児の発育や栄養状態を評価するために、体重と身長から、やせや肥満などを計算する。

ア ローレル指数 イ カウプ指数 ウ 把握反射 エ モロー反射

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和2年度 第39回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) アタッチメントは生後（ ）か月頃から形成される。
- (2) 新生児の睡眠時間は平均（ ）時間である。
- (3) 幼児の発育で、身長は5年間で出生時の約（ ）倍位になる。
- (4) 衣服や下着が全部自分で脱げるようになるのは（ ）歳頃からである。

ア 2 イ 5 ウ 6～7 エ 16～18

2 次の文で正しいものには○，誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 新生児の皮膚は、生後2～3日経つと生理的黄疸が見られるが1週間位で消失すれば心配はない。
- (2) 乳児の手，足の清拭は，身体の中心から末端へという方向で拭くとよい。
- (3) 乳児の運動機能の発達は，寝返り，お座り，ハイハイという順である。
- (4) 子どもの服は洗濯回数が多くなるので，乾きやすい化学繊維のものが便利である。

3 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 乳児期初期は、胃の筋肉が十分成熟していないため、胃から乳汁があふれ出し、口から少し出ることを（ ）という。
- (2) 乳幼児の発育状態の評価で、それぞれの子どもの計測値が、同じ性別、年齢の人の中でどの程度の位置にいるのかを表す数値として（ ）が用いられる。

ア 吐乳 イ 吐乳 ウ カウプ指数 エ パーセントイル値

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和2年度 第40回 全国高等学校家庭科保育技術検定
家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳歯が永久歯に生え変わり始めるのは () 歳頃である。
 - (2) 出生時の体重は、() 年間で約4倍になる。
 - (3) 臓器系統の発達で、リンパ組織が最も高い時期は () 歳頃である。
 - (4) 新生児の体の水分の占める割合は、() %である。
- ア 3 イ 6 ウ 10 エ 30 オ 80
- 2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 離乳食の調理で甘みをつけるときは、栄養面からはちみつを使用するのがよい。
 - (2) 乳児は睡眠時間が長いので、敷き布団は柔らかいものを選ぶとよい。
 - (3) 乳児の身体測定は発育の状態や健康状態を評価するもので身長、体重、頭囲、胸囲を測定する。
 - (4) 調整粉乳は、母乳よりビタミンKが多く含まれている。
- 3 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳児の呼吸は腹式呼吸であるが、3歳ころから、ろっ間筋を使った () 呼吸になる。
 - (2) 乳児の便で哺乳を始めると黄色味をおびた便がでる。その後次第に鮮やかな黄色の () となる。
- ア 乳便 イ 移行便 ウ 胸腹式 エ 胸式

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 新生児の腸の長さは、身長()倍である。
- (2) 一人で靴がはけるようになるのは()歳頃からである。
- (3) 幼児期の肥満度の計算で()%は肥満傾向である。
- (4) 新生児の頭の骨には、大泉門と呼ばれる隙間が開いている。これは、狭い産道を通るためのものであるが、生後()歳半頃には閉じる。
ア 1 イ 3 ウ 7 エ 18

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 母乳は与え続けないと分泌が悪くなるので、飲ませないときは搾乳をし、冷凍保存をすることができる。
- (2) 新生児期の生後数日間において、出生体重の5~10%の体重減少を自然的体重減少という。
- (3) 生後1か月を過ぎたら、戸外の空気に慣れるため外気浴をするが、からだを鍛えるためというよりも、日光に慣らしていくためのもので、強い直射日光は避けるようにする。
- (4) 自分で衣服の着脱ができ、必要に応じて調整することができるようになるのは、4歳ころからである。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 離乳食の進め方で、7、8カ月頃の離乳食の調理形態は()くらいの固さにする。
- (2) 食事、排泄、衣服の着脱、清潔など、日々の生活の中で、習慣化して身に付ける行為を()と呼ぶ。
ア 舌でつぶせる イ 歯ぐきでつぶせる ウ 基本的生活習慣
エ 社会的生活習慣

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 一人でお座りができるようになるのは、() か月頃からである。
- (2) 乳児期の排尿回数は1日に () 回である。
- (3) 出生時の身長と頭長との比は、() 頭身である。
- (4) 新生児には、ベビーバスを用いて入浴するが、() か月を過ぎたら家族と一緒に入浴してもよい。

ア 1 イ 4 ウ 7 エ 15~20

2 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 乳児は、低年齢であるので心臓が小さい。そのため、1分間当たりの脈拍数は大人より少ない。
- (2) 調製粉乳を与える時の温度は、腕の内側にたらしめて温かいと感じる40℃位が適温である。
- (3) 乳幼児の顔の清拭は、最初に目頭から目尻に向かって拭く。
- (4) 子どもの運動機能の発達でつかまり立ちができるようになるのは、5か月頃である。

3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 生後6か月頃から乳歯が生え始めるが、最初に生えるのは() からである。
- (2) 乳児期は胃底部が十分に形成されず、() 括約筋の発達が不完全である。

ア 下の中切歯 イ 上の中切歯 ウ 噴門 エ 幽門

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 乳児の呼吸数は、1分間あたり()回である。
 - (2) 生後()か月頃になると、乳汁ではタンパク質や鉄分が不足するため、固形物から栄養を補給する必要がある。
 - (3) 生後()日経つと、血液中のビリルビン値が上がり皮膚が黄色味を帯びるが、1～2週間ほどで消える。
 - (4) 夏の寝室は、室温を()度に保てるように、エアコンなどを適切に使用する。
ア 2～3 イ 5～6 ウ 20～25 エ 30～40
- 2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 出生時の胸囲は、約31～32cmで頭囲よりも小さい。
 - (2) 口に乳首や指などが触れると吸い付く運動を、モロー反射という。
 - (3) 分娩後に脳下垂体から分泌されるプロラクチンは、出産で大きくなっていた子宮を収縮させる。
 - (4) 幼児の衣服は、動きやすく安全でじょうぶな素材で、着脱しやすいものがよい。
- 3 次の文を読んで、関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 生後4～5か月頃になると、手のひらと指で物をわしづかみすることができるようになる。これを()という。
 - (2) 新生児期から3か月頃までの脊柱は()し、全体に丸みを帯びたカーブを描いている。
ア 手掌把握 イ 指先把握 ウ 後弯 エ 前弯

解 答 欄

	学年		受検番号		名前					
問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										
					合計点					
					合 ・ 否					

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 出生時の体重は、()年で3倍になる。
 - (2) 身長に占める頭部の割合は、2歳頃になると()分の1になる。
 - (3) 調製粉乳を作るとき、出来上がりの温度は、()℃くらいが望ましい。
 - (4) 乳歯が生えはじめるのは、生後()か月頃である。
- ア 1 イ 3 ウ 5 エ 6 オ 40 カ 70

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 出生時の体重が2,500g未滿の新生児を低出生体重児という。
- (2) 新生児期の授乳は、乳児が欲しがるときに欲しがらだけ与える。
- (3) 新生児は体温の調節能力が低いので、できるだけ薄着を心がける。
- (4) 幼児期は午前と午後に1回ずつの午睡が必要である。

3 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 幼児の呼吸は、3歳頃になると、ろっ間筋を使って()ができるようになる。
 - (2) 座る、立つ、歩くなどの全身を使った移動やからだの平衡を保つための運動を()という。
- ア 胸式呼吸 イ 胸腹式呼吸 ウ 腹式呼吸 エ 微細運動 オ 粗大運動

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 舌でつぶせる硬さの離乳食は、()か月くらいから与える。
- (2) 生理的黄疸は、ふつう生後()週間で消失する。
- (3) 幼児の間食は、1日のエネルギーの()%くらいが目安である。
- (4) 乳歯は生後()か月頃から生えはじめる。

ア 1～2 イ 3 ウ 6 エ 7～8 オ 10～15 カ 12

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 乳幼児の発育や栄養状態を評価するために、体重と身長から「肥満」や「やせ」などを計算する指数をカウプ指数という。
- (2) 哺乳びんで授乳する場合、飲み残しは冷蔵庫に入れて保存し、温めなおしてから乳児に与えてもよい。
- (3) 外気浴は、紫外線が強い13時頃にするのが良い。
- (4) 乳児は新陳代謝が盛んで汗をかきやすいので、薄着を心がける。

3 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 新生児の頭蓋骨は、泉門と呼ばれる隙間が開いている。前方にある泉門を()という。
- (2) 生後2～3日ごろまでの乳児は、粘りのある、()色の胎便を排泄する。

ア 噴門 イ 小泉門 ウ 大泉門 エ 茶 オ 黒緑 カ 白

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

家庭看護技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 乳歯は生後2～3年で生えそろう、()本となる。
- (2) 調製粉乳をつくる時、出来上がりの温度は()℃くらいが望ましい。
- (3) 乳児のからだの水分比率は平均()%である。
- (4) 出生時の身長はおよそ()cmである。

ア 18 イ 20 ウ 35 エ 40 オ 50 カ 70

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 新生児に見られる原始反射で、大きな音に反応して両手を広げる反射を、把握反射という。
- (2) 乳児がひとりで寝返りをうてるようになるのは首がすわる前である。
- (3) 母乳と調製粉乳などの人工栄養とを組み合わせる乳児に与えることを、混合栄養という。
- (4) 親など特定の人と子供の情緒的な結びつきを「愛着(アタッチメント)」という。

3 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 軟骨の部分にリン酸カルシウムが付着して固くなることを()という。
- (2) 授乳後、胃から乳汁が逆流して、乳児の口からだらだらと出ることを()という。

ア 化骨 イ 成骨 ウ とう骨 エ 溢乳 オ 吐乳

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------